

## 飲酒・酒気帯び運転の根絶に向けての取組み

このたび、市内小学校教諭が酒気帯び運転で現行犯逮捕されるという事案が発生してしまいました。佐久市では、平成 25 年度にもこの種の事案が発生しており、市民の皆様の教育への信頼を欠く事態となっております。

臼田中学校では、これまでも飲酒・酒気帯び運転の根絶を含め、非違行為根絶のために以下のような取組を職員研修として計画し、行ってきました。

- ・4月1日に、交通安全、特に飲酒運転は絶対にしない「誓い」を自書しました。
- ・酒席では帰宅方法を自書してもらうことを継続していて、歓迎会から実行し、幹事が最終確認をしています。（他の酒席も同様）
- ・長野県教育委員会の処分事案を検証し、研修の機会をとりました。
- ・学校長との個々面談を行いました。
- ・非違行為防止マニュアルの見直しをしました。
- ・セクハラチェックシートを使い、自らの行為のふり返りをしました。
- ・職員会において、信濃教育に掲載されている「教師の心得」の読み合わせを継続しています。職員会では、毎回非違行為防止に繋がる研修の時間をとっています。
- ・人権同和教育講演会で、LGBTの当事者による研修会を受けました。生徒の心を見取る指導の大切さを考えました。
- ・学校評価アンケートにより、非違行為に結びつく可能性のある事案についての早期発見につとめました。
- ・学校評議員の皆さんに非違行為防止委員になっていただき、本校の取組みを検証していただきました。

これらのことに加え、今回の事案を受けて、昨日 16 日の職員会で考え合い、「本物の飲酒運転撲滅に向けた誓い」にするために、4月1日に自書している以下の「誓い」を生徒、保護者さらに地域の方々に向けて、発信する取組みをすることとしました。また、家族にはあて名を入れ自書し、それぞれの相手に誓う取組みをすることとしました。

### 誓い

私は、長野県佐久市の教職員として、自覚と責任をもち、自動車等の運転にあたっては、交通法規を遵守することはもちろん、常に模範的な運転につとめ、特に飲酒運転に起因する幾多の反社会的事実を深く思いをいたし、飲酒運転は絶対に行わないことを固く誓います。

今回、このような取組状況をお知らせすることで、臼田中学校から、飲酒・酒気帯び運転を出さない「誓い」を生徒・保護者・地域の皆様にさせていただきたいと思います。また、今後も飲酒酒気帯び運転の根絶を含め、非違行為根絶に向けて職員一同取組んでまいりたいと思います。

平成 28 年 11 月 17 日  
臼田中学校長 山浦 忍